

令和8年1月29日

まちづくり委員会資料

- 1 所管事務報告
 - (2) 南武線駅アクセス向上等の取組について

資料 南武線駅アクセス向上等の取組について

まちづくり局

1 南武線駅アクセス向上等の取組について

(1) 目的

J R 南武線武蔵溝ノ口駅以北の片側改札口の5駅（稲田堤駅、中野島駅、宿河原駅、久地駅、津田山駅）について、橋上駅舎化を図ることなどにより、踏切を横断する駅利用者の安全性・利便性の向上、鉄道による地域分断を改善すること。

(2) 現時点での対応方針

稲田堤駅・津田山駅・中野島駅・久地駅 ⇒ 橋上駅舎化（自由通路整備を含む）
宿河原駅 ⇒ エレベーター付き跨線橋があり、今後、他の駅の検討と併せて、
様々な方法についてJ R 東日本と協議調整を行うなど、駅アクセス
向上に資する取組について検討

(3) これまでの経過

平成22年2月 南武線駅アクセス向上方策案の策定

24年12月 J R 東日本（以下「J R」という。）と【津田山駅】 【稲田堤駅】
の橋上駅舎化について基本協定を締結

令和3年9月 津田山駅橋上駅舎化の工事完了

6年6月 稲田堤駅橋上駅舎化の工事完了

南武線駅アクセス向上等の取組について

(参考) 津田山駅の概要



平成28年6月 JRと橋上駅舎化の施行協定を締結

平成29年3月 工事着手

令和3年9月 橋上駅舎化の工事完了

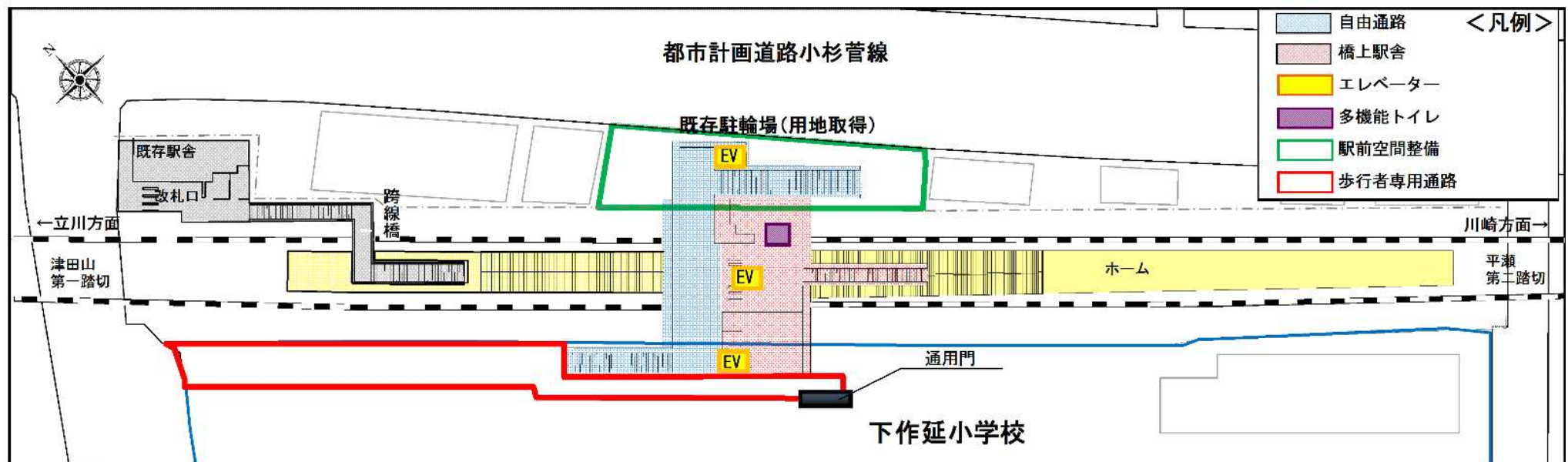
【事業費】約 22億円

【自由通路】有効幅員（通路部）4.0m

（階段部）2.3m～2.68m

付帯施設 エレベーター2基

【橋上駅舎】付帯施設 エレベーター1基、多機能トイレ



南武線駅アクセス向上等の取組について

(参考) 稲田堤駅の概要

平成30年 7月 JRと橋上駅舎化の施行協定を締結

令和元年 7月 工事着手

令和6年 6月 橋上駅舎化の工事完了

【事業費】 約 36億円

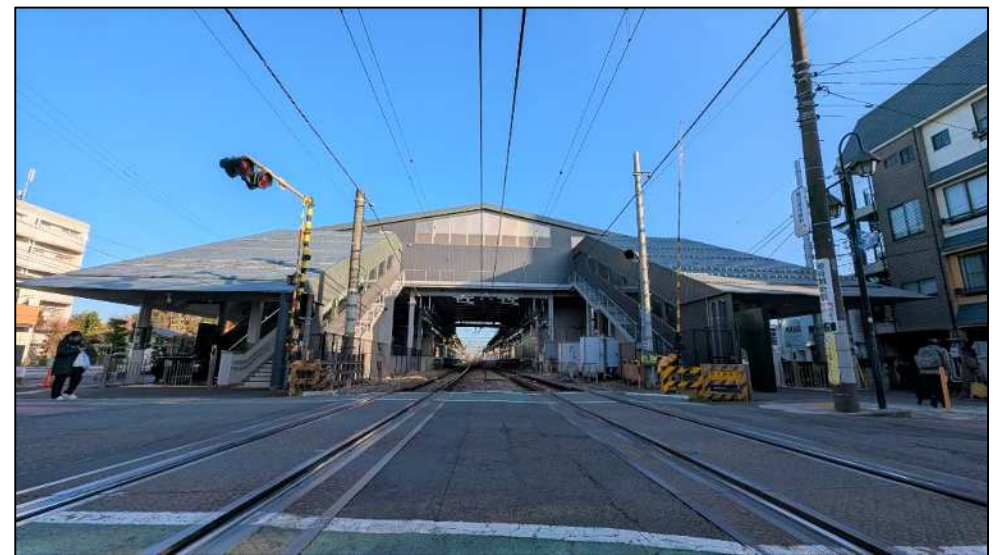
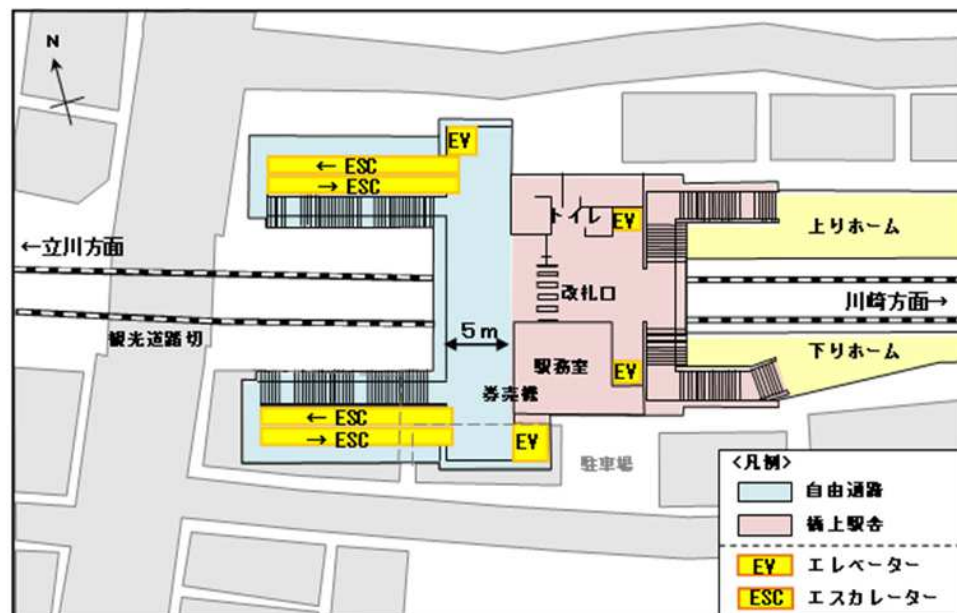
【自由通路】 有効幅員 (通路部) 5.0m
(階段部) 1.56m

付帯施設 エレベーター2基、エスカレーター4基

【橋上駅舎】 付帯施設 エレベーター2基、多機能トイレ



【写真】 稲田堤駅自由通路内



【写真】 稲田堤駅自由通路全景

2 中野島駅・久地駅の橋上駅舎化の検討状況について

(1) これまでの経過

- 令和元年度 J R に中野島駅・久地駅の橋上駅舎化の検討を委託
3・4年度 令和元年度の委託結果を踏まえ、検討案作成
5年度以降 令和3・4年度の成果を踏まえ、J R と検討の深度化、意見交換を実施

(2) 橋上駅舎化等整備に向けての課題

- 両駅とも地質に課題があり、稲田堤駅より基礎工事の費用が増大
- 都市計画道路や民間所有地などの駅周辺における土地の形状等による利用制限
- 近年の物価高騰により、令和3・4年度算出金額よりも高騰

⇒ 費用対便益（B／C）が 1.0 を大きく下回る。

（平成29年に国の基準が変わり、国庫補助要件に満たないなど事業が成立していない状況）



駅舎の位置の変更や駅務スペースの見直しなどによる整備費用削減に向けた意見交換を、J R と実施しているが、整備時期の見通しは立っていない状況



引き続き、
橋上駅舎化に向けた検討を実施



中野島駅の臨時改札口の継続及び
久地駅での暫定対策について協議調整を実施

南武線駅アクセス向上等の取組について

3 中野島駅の臨時改札口の取組について

(1) これまでの経過

平成29年12月 中野島駅臨時改札口設置等に関する覚書をカリタス学園、ＪＲと締結

※カリタス学園の生徒が踏切を渡らないで済むようにしたいとして、学園側が維持管理費用を負担することで実現（役割分担 市：整備費等、カリタス学園：維持管理費、ＪＲ：運営）

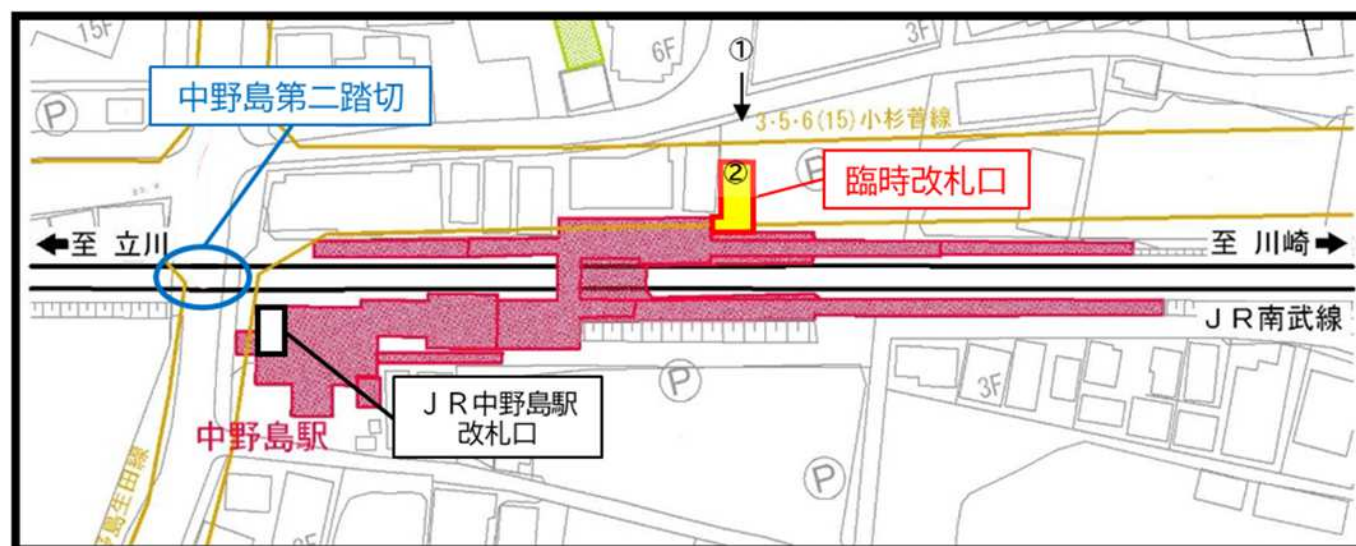
令和元年6月 中野島駅臨時改札口使用開始

⇒ 覚書期限は「自由通路整備完了」又は「2026（令和8）年3月末」

(2) 施設の概要

自動改札機 3機（交通系ＩＣカード専用）

開設時間 平日 7:00～8:30、16:00～19:00
（土日、祝日及び年末年始除く）



①臨時改札口



②改札機

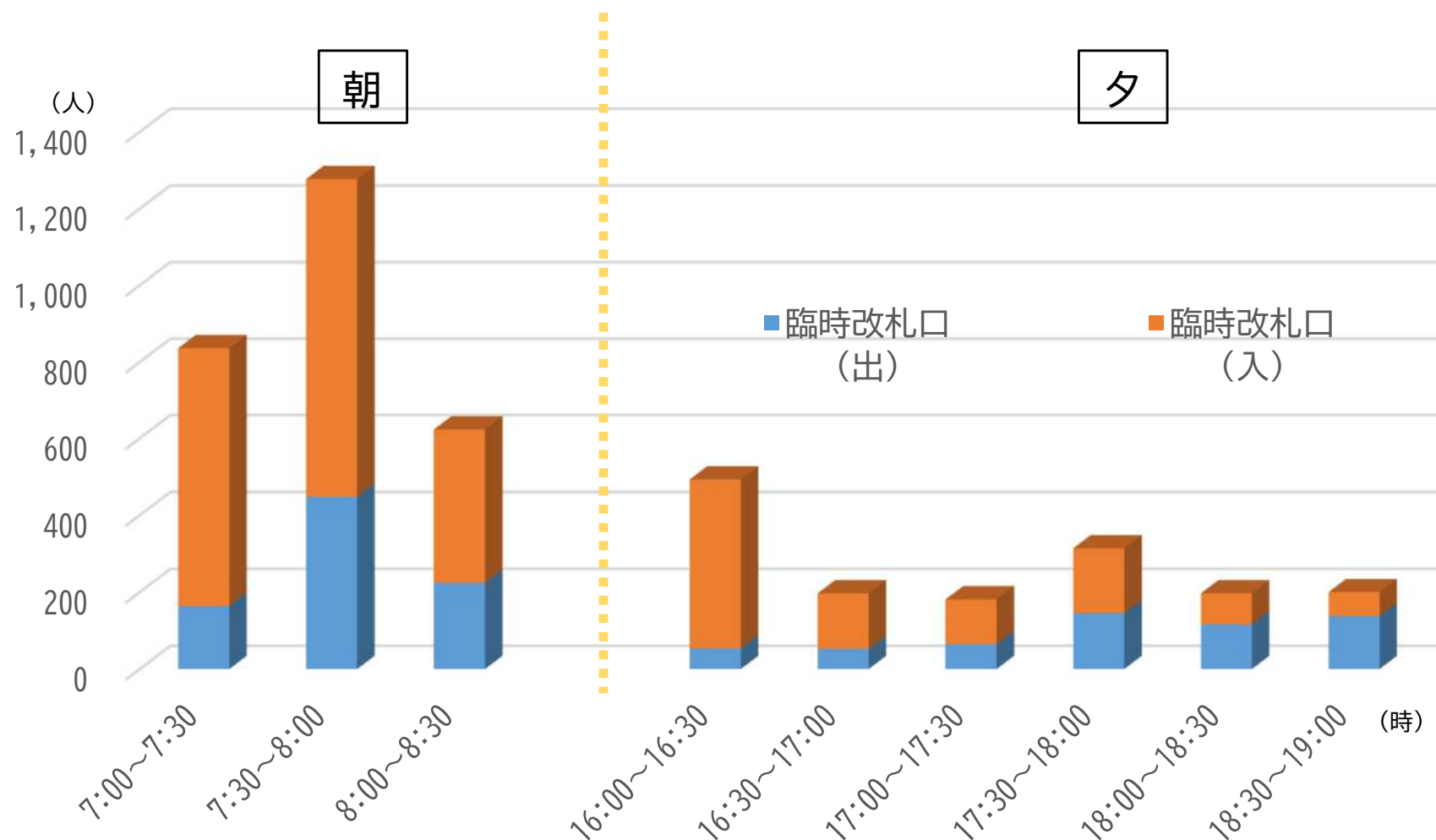
南武線駅アクセス向上等の取組について

3 中野島駅の臨時改札口の取組について

(3) 現状

○臨時改札口の利用者の状況

(令和6年1月25日 川崎市調査)



朝の時間帯において臨時改札口の利用者が多く、踏切横断者の減少に大きく貢献しています。

南武線駅アクセス向上等の取組について

3 中野島駅の臨時改札口の取組について

(4) 令和8年度の取組の方向性

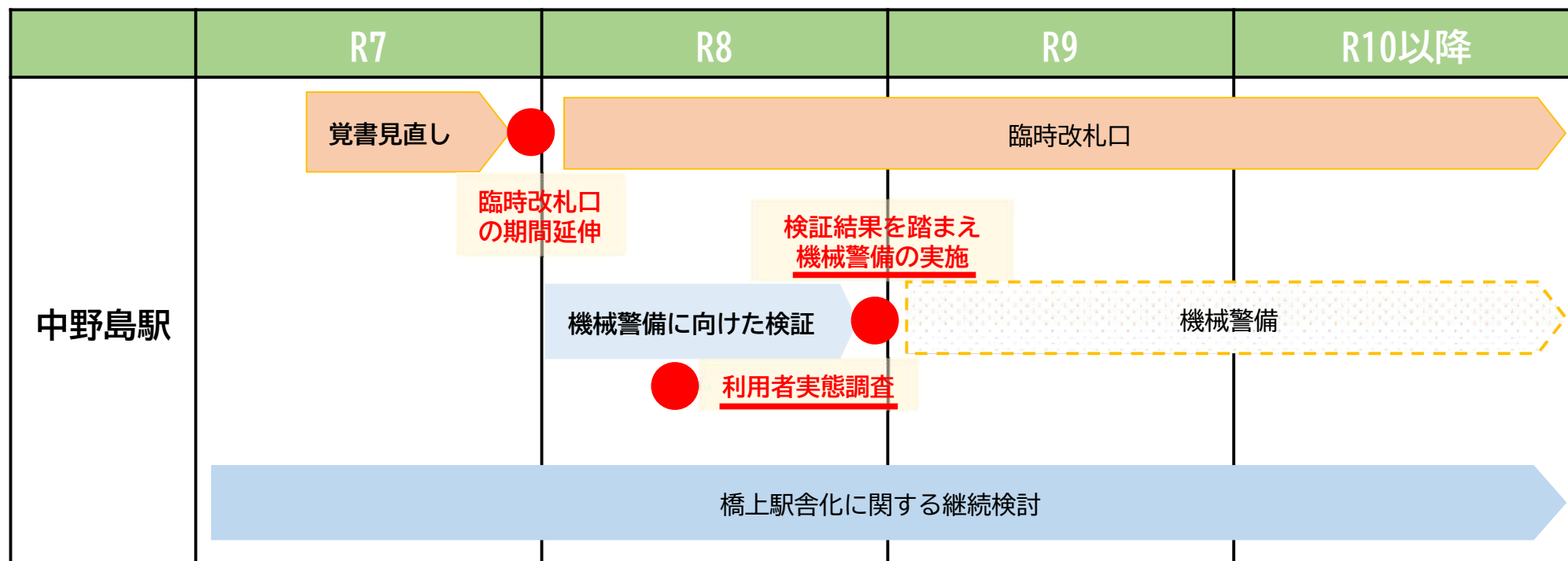
①利用者実態調査の実施

臨時改札口を含めた改札口の利用状況や踏切の横断状況などを把握するとともに、結果の分析等を行い、令和9年度以降の臨時改札口の開設時間等を検討

②カメラ等による機械警備への転換に向けての検証

機械警備導入の可能性が高まったとの認識がJRから示されたことから、導入にあたっての検証を実施し、令和9年度からの導入を目指します。

【表】今後のスケジュール（案）



4 久地駅の暫定対策の取組について

(1) 現状

①久地踏切での駅利用者の滞留

- ・ 駅南方向からの南武線利用者は踏切を横断して改札口を利用する必要があり、平日朝の通勤通学時間帯で多くの利用があるとともに、歩道内での輻輳や車両との接触等の懸念があります。
- ・ 現在のピーク時運行本数は、上下線で合わせて35本となっていることから、遮断が連続する等、遮断時間が長い踏切となっています。



【写真】久地踏切の朝の状況

②久地踏切の危険な踏切横断による列車の遅延

- ・ J R 南武線の遅延の原因の一つとして、踏切において遮断桿が下りた後の無理な横断などにより、「久地踏切」は踏切内の危険を知らせる信号の発報件数が特に多い状況

【参考】令和7年8月8日 J R 東日本 報道発表資料

④「踏切事故0（ゼロ）運動」の継続的な取組みの実施

踏切において遮断桿が下りた後の無理な横断や自動車などの立往生により、踏切内の危険を知らせる信号が発報されることで列車が急停車し、遅延の発生につながっています。踏切を通行される方に向けたキャンペーンを継続するとともに、この信号が発報される件数が特に多い久地踏切に、当面の間は一部時間帯で警備員を配置するなど、列車が通過する直前の危険な踏切横断の防止にご協力をお願いする取組みを強化してまいります。



踏切マナーキャンペーン

4 久地駅の暫定対策の取組について

(2) 令和8年度の取組の方向性

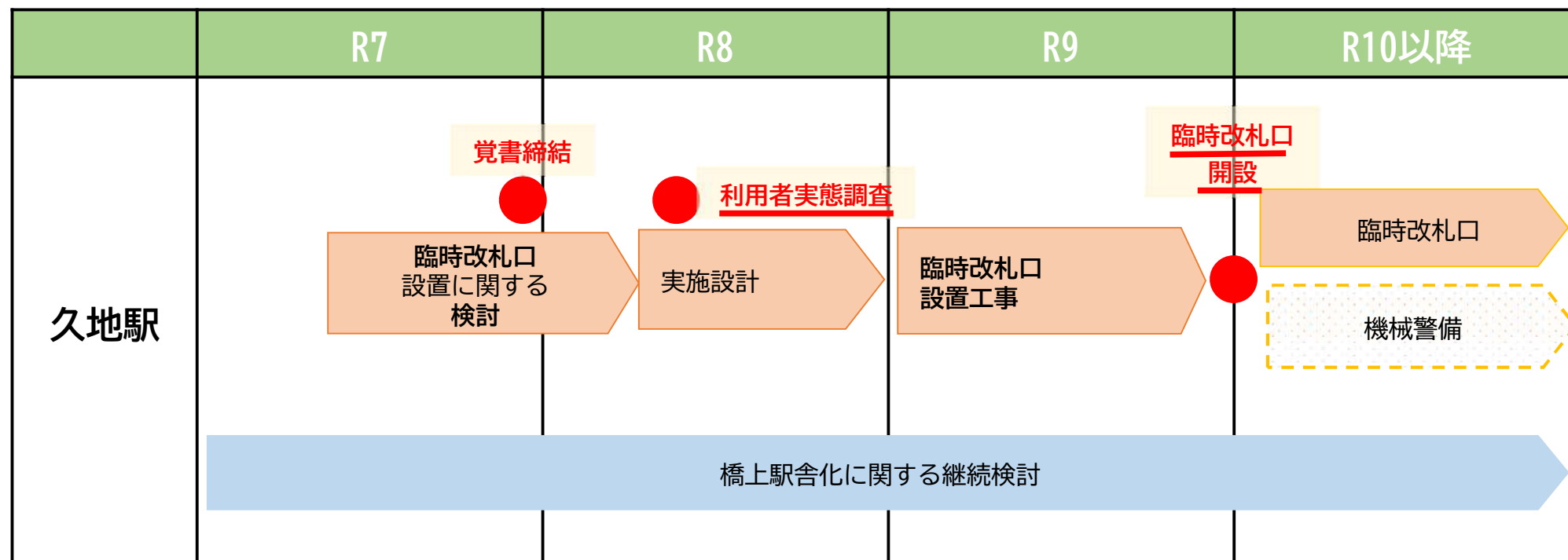
①久地駅の臨時改札口設置に向けた取組の推進

- ・ J Rと連携を図りながら、臨時改札口の位置の検討や設計を実施し、令和10年春の開設を目指します。

②利用者実態調査の実施

- ・ 踏切の横断状況などを把握するとともに、結果の分析等を行い、臨時改札口の開設時間等を検討

【表】今後のスケジュール（案）



南武線駅アクセス向上等の取組について

5 想定スケジュール

